



2

深まる学びへ
握手

☑ ウォーミングアップ



「握手」は、現在の部分に回想の部分に織り込まれるかたちで書かれている。

現在 上野公園の西洋料理店でルロイ修道士と再会、手を差し出される。

回想 かつて、ルロイ修道士の握手は力強かった。

現在 今の握手は穏やか。手のひらを擦り合わせてもギチギチと鳴らない。

回想 かつては擦り合わせるたびにギチギチと鳴った。

現在 ルロイ修道士の人さし指が、不思議なかつこうをしている。

回想 ルロイ修道士の指にまつわるうわさ。

現在 ルロイ修道士にたしなめられる。↓人さし指をぴんと立てる癖。

「わかりました」の合図。↓右の親指を立てる。

回想 ぶたれた事件。↓人さし指をせわしく交差させ、打ちつける癖。

現在 遺言のような言葉を聞く。

回想 上川君の思い出。

現在 握手をして別れる。

語り手の現在 まもなくルロイ修道士の一周忌。

回想 葬式で話を聞く。↓「わたし」は人さし指を交差させ、せわしく打ちつける。

いのうえ
井上 ひさし

ねらい

- ① 作品の展開や登場人物の言動から、人物像を捉えよう。
 ② 登場人物の生き方や考え方をつかもう。

☑ 「読解の道しるべ」を参考にして書こう。

① この物語は「わたし」が恩師の

と再会して、過去の出来事を

する形で展開する。

② この物語には何度も

の動きの描写が出てくるが、その描写からル

ロイ修道士のさまざまな気持ちの変化を読み取ることができる。

▼ 漢字・語句を確認しよう。

1 線の読み仮名を書きなさい。

□① 祖父の遺言を思い出す。

□② 穏やかな天気の日。

□③ 鶏舎で過ごす。

□④ 山野を開墾して畑を作る。

□⑤ 土地を二つに分割する。

□⑥ 傲慢な考えを改める。

□⑦ とんだ代物を買わされた。

□⑧ 帝国が全土を支配する。

□⑨ 葬式に参列する。

□⑩ 腫瘍ができる。

□⑪ 手に泥が付いている。

□⑫ 恩師の一周忌に集まる。

2 線の片仮名を漢字で書きなさい。

- ① 工場の作業をカントクする。 □② 衣服をセンタクする。
 () ()
 □③ 死ぬのがコワい。 □④ 落とし物をサガす。
 () ()
 □⑤ 手のツメを切る。 □⑥ 自分のセイメイを名乗る。

3 次の各問いに答えなさい。

- ① 次の□に共通して入る、体の一部を表す漢字一字を書きなさい。

□前 □が立つ

□を振るう □によりをかける

- (2) 次の——線部の語句の意味を答えなさい。

- ① あの人は気前がいいので、提供してくれるだろう。

- ② 祖母の死が精神的にこたえる。

- ③ 親方にいとまごいする。

- ④ 昨夜、奇妙なことがあった。

- ③ 「平凡」の対義語を書きなさい。

平凡
↑
凡

- (4) 次の語の意味として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- ① 達者

ア 位が高いこと。 イ よく知られていること。

ウ 年を取っている様子。 エ 上手である様子。

- ② 地道

ア 着実である様子。 イ すばやい様子。

ウ 目立たない様子。 エ 力強い様子。

- ③ 年季が入る

ア 長い間努力を続けて熟練している。

イ 昔通りのやり方をずっと続けている。

ウ 他の人にはまねのできないことをしている。

エ その人の気持ちがこもっている。

- ④ 傲慢

ア 心が狭く、他人を受け入れないこと。

イ 経験が浅く、世間知らずであること。

ウ 楽観的で、調子がいいこと。

エ おうへいで、思いつがっていること。

- (5) 次の語句を使って短文を作りなさい。

- ① 精を出す

- ② ……(の)わりに

- ③ むやみに



練習問題 1

教科書 P. 18
Q. 12
P. 20
Q. 4

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。



□Ⅱ この「うわさ」では、ルロイ修道士は日本人をどう思っていると言われているか。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□(3) — 線②「ルロイ先生は……野菜を作り鶏を育てている」とありますが、ルロイ先生はどのような考えをもっていたのだと考えられますか。「戦勝国」「人間」という言葉を使って、四十字以上五十字以内で書きなさい。

50 40

(4) — 線③「これはどういうことだろう」とありますが、どんなことが不思議だったのですか。二つ書きなさい。

□(1) この文章は、今、「わたし」がルロイ修道士に会っている様子を書いている

部分と、昔のことを思い出して書いている部分とに分けられます。昔のことを書いている部分を文中から探し、その初めと終わりの五字を書き抜きなさい。

(2) — 線①「こんなうわさ」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。

□Ⅰ 「こんなうわさ」について具体的に説明している部分を文中から探し、その初めと終わりの五字を書き抜きなさい。

□(5) — 線④「右の人さし指をぴんと立てた」とありますが、このとき、ルロイ修道士は何のためにそうしたのですか。次の文の□に入る言葉を文中から書き抜きなさい。

「わたし」が

してものを言うような

言い方をしたので、

になるかと戒めるため。

□(6) — 線⑤「わかりました」とありますが、「わたし」がこう言ったのはなぜ

ですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 過去のことに触れられるのは、ルロイ先生にとって苦痛なことだと気付

いたから。

イ ルロイ先生の言葉は、ルロイ先生の生き方と一致していて説得力があつ

たから。

ウ ルロイ先生の悲しみは、謝罪の言葉などではいやされないほど深いと思

ったから。

エ 戦争中のことは、今となつては誰にも責任がないことだと理解したから。

()

(7) ルロイ修道士の癖を文中から二つ書き抜きなさい。

定期テスト対策

教科書 P 16 ~ 27

実施時間のめやす ↓ 20分

得点

／ 100点

① 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

[illegible][illegible]

(10点)

()

—

(10 点)

□① 百姓仕事をする。 () □② 顔が腫れる。 ()

()
 □
 ④

()
 □
 ⑥

⑧ □)

10

思考・表現 ルロイ・修道士は天国について「あると信じるほうが楽しい」と述べていますが、この考えについて、あなたはどのような感想をもちましたか。次の条件にしたがって、あなたの考えたことや感じたことを書きなさい。

条件1 「私は」という言葉で書き始めること。

条件2 五十字以上八十字以内で書くこと。

[illegible]